

藤ノ森だより特別号



令和元年9月30日
京都市立藤ノ森小学校
校長 東原 幹人
☎ 075(641)6305
FAX 075 (641)7135
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/fujinomori-s/>

秋の虫の声が聞こえてくる季節となりました。日頃は、本校教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。夏休み前に実施しました第1回教育アンケートの結果についてお知らせします。昨年度より、児童・保護者の質問項目を統一し、児童が感じていることと保護者の皆様の関わり方との繋がりを見るることができます。学校での教育活動とご家庭での働きかけによって、子どもたちをより良く導いていくための振り返りとして活用してまいります。また今回の結果を踏まえ、教職員一同も今後の学校教育全体を見直し、良い方向性を見出していくことができるよう、力を合わせてより一層の努力をしていきたいと思います。保護者の皆様には引き続きご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いします。

— 学校教育目標 —

自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持ち、

心身共にたくましく生きる藤ノ森の子

【めざす子ども像】

すすんで
勉強する子

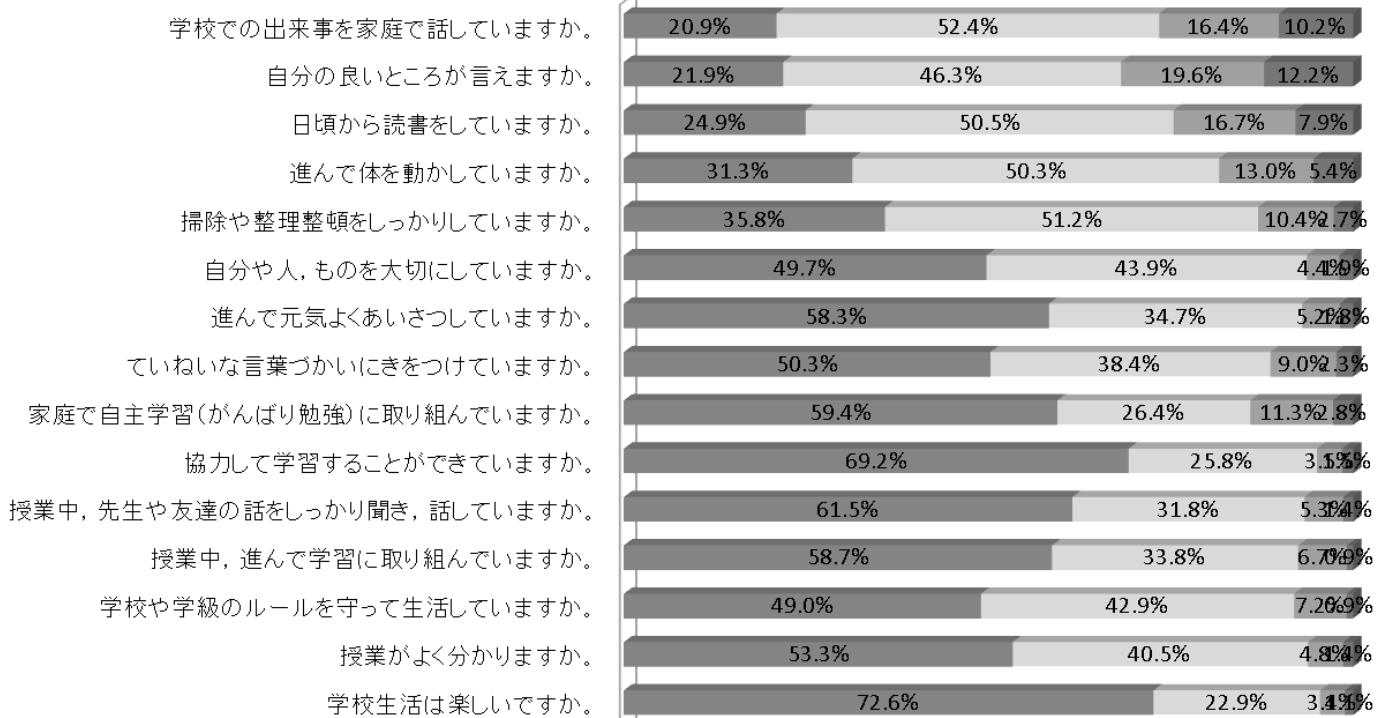
かぎりなく
やさしい子

だれとでも
つながる子

しなやかで
元気な子

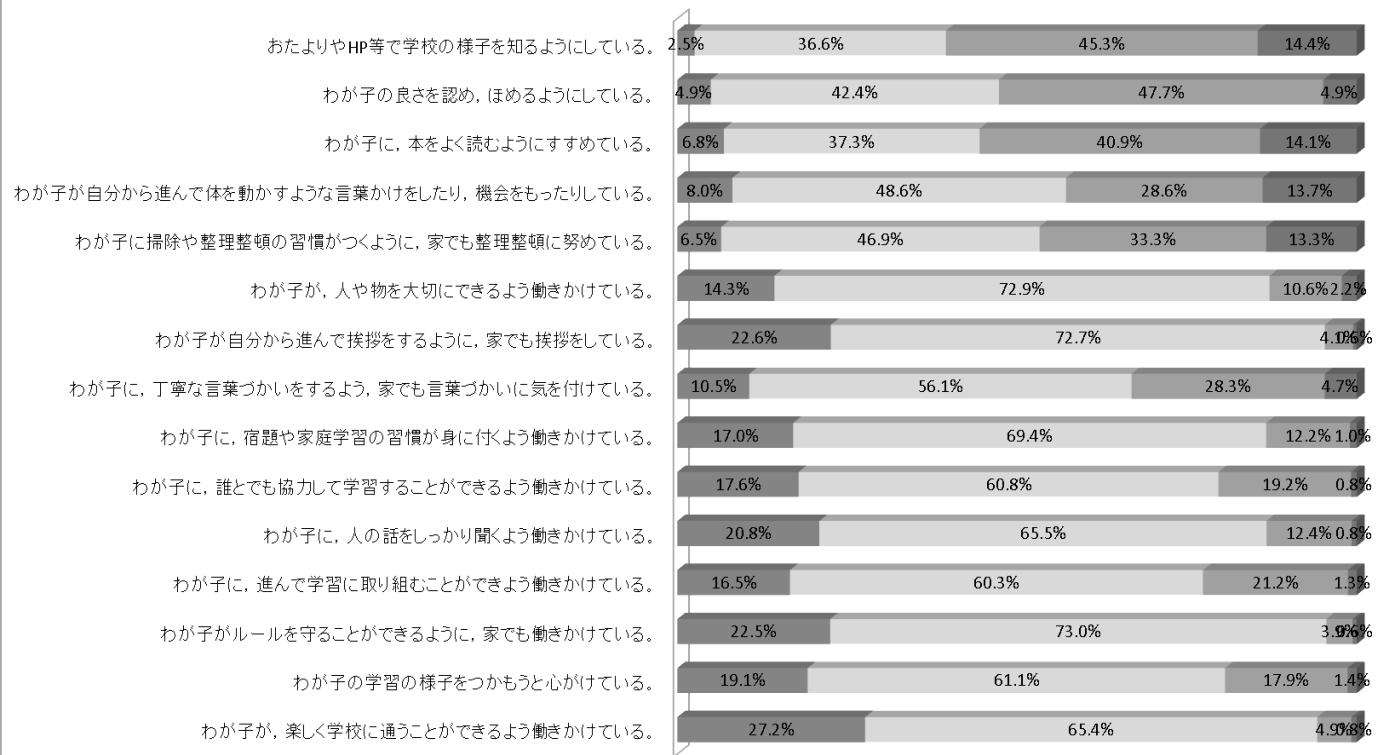
令和元年度 第1回教育アンケート(児童版)

■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない



令和元年度 第1回教育アンケート(保護者版)

■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない



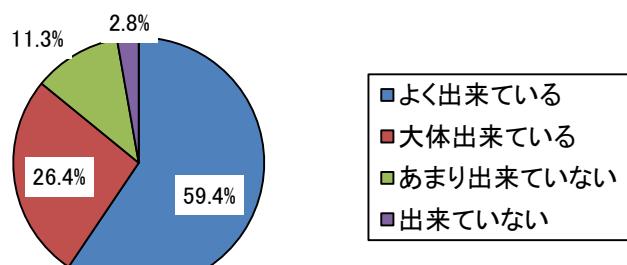
ほとんどの子どもたちは、授業がよく分かり、楽しく学校に通うことができているようです。これは、保護者の皆様が学校の教育活動を前向きに捉えて子どもたちに働きかけてくださっているだけでなく、ご家庭で「学習の様子をつかもうと心がけている」(80.2%)、「ルールを守ることができるように働きかけている」(95.5%)、ことなど、子どもたちの学校生活に目を向けながら子どもたちを律する姿勢が、子どもたちの肯定的な態度につながっていると考えられます。しかし一方で、6.2%の子どもたちが授業がよく分からず、4.5%の子どもたちが学校生活を「楽しい」と答えることができていないということにも目を向けなければなりません。教職員一同研修を重ね、子どもたちが友だちと協力して成し遂げる達成感を感じたり、自ら気づき、考えを深めたりすることができる授業を構築していくとともに、全ての子どもたちに寄り添い、向き合う学校・学年・学級づくりを進めてまいります。

すすんで勉強する子

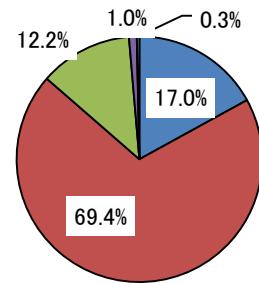
授業中「進んで学習に取り組んでいる(92.5%)」「先生や友達の話をしっかり聞き、話している(93.3%)」「協力して学習することができている(95%)」このように、子どもたちは一生懸命学習をしています。家庭学習についても85.8%の子どもたちが「取り組んでいる」と答えました。保護者の方も積極的に関わりを持って下さっています。学校では漢字や計算、音読の宿題の他に、「がんばり勉強(自主勉強)」も出しています。これは将来に向けて、子どもたちが自主的に学びを進めていくためのものです。近い将来としては中学校生活。定期テストに向けて自分で勉強を進めなければなりません。何を調べるか。何をどう練習するか。誰かに言われたことをこなすだけでなく、今の自分に何が必要かを考え、学び続ける習慣をつけてほしいと願っています。

また、読書について、子ども達は毎日「朝読書」の時間を設定しているため読書に親しむ機会があると考えられますが、普段からの読書習慣には個人差が大きいようです。読書習慣により、行間を読み取る力が向上するだけでなく、思考力・想像力を養うことができます。ご家庭でも是非読書に向かう姿勢を醸成していただきたいと考えます。

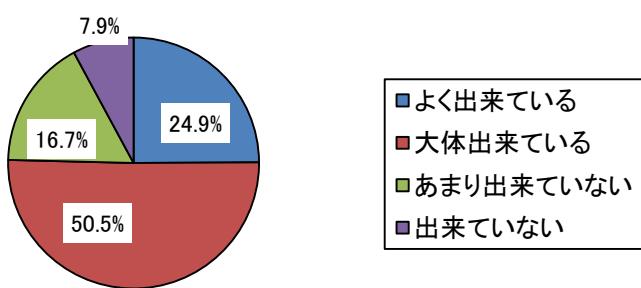
家庭で自主学習(がんばり勉強)に取り組んでいますか。



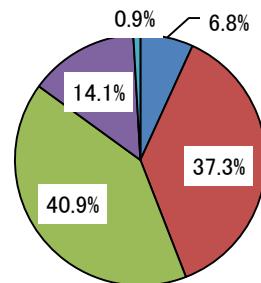
わが子に、宿題や家庭学習の習慣が身に付くよう働きかけている。



日頃から読書をしていますか。



わが子に、本をよく読むようにすすめている。

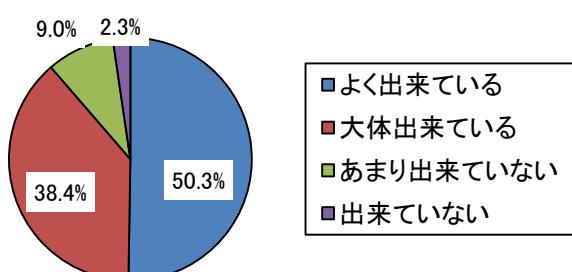


かぎりなくやさしい子

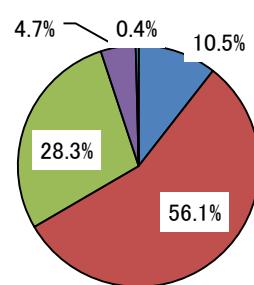
言葉づかいについては昨年度と比べて、子どもたちも保護者の皆様も「気を付けている」という答えが増えました。丁寧な言葉づかいで話すことは、相手のことを敬うことです。また、子どもたちが社会に出たときに大きな力となります。気持ちを許し、何でも話すことができる関係性が重要ではあります、親しき仲にも相手を敬い、丁寧に思うからこそその言葉づかいで話すことができるよう、今後も働きかけをしていただければと思います。

また、「自分や人、ものを大切にしていますか」という質問では、子どもたちの 93.5%, 保護者の皆様の 87.2% が大切にしていると答えました。自分も周りも大切にという意識が高まっていると言えます。しかし一方で、「自分の良いところが言えますか。」という質問に対して「あまり言えない・言えない」という答えが 21.8% ありました。わたしたちが意識して子どもたちの良いところ・頑張ったところを認めたり褒めたりすることで、子どもたちが何事にも自信を持って前向きに取り組むことができるようにならうと考えます。また子どもたちの困りも良さも保護者の皆様と共有し、手を携えて、子どもたちの成長を温かく見守りたいと考えています。

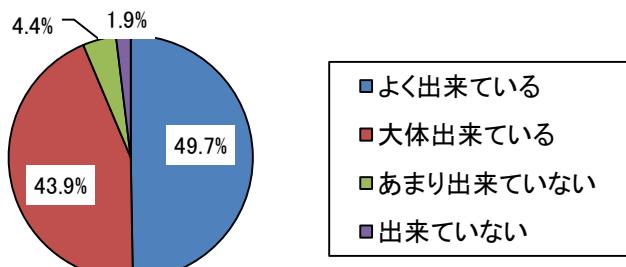
ていねいな言葉づかいにきをつけていますか。



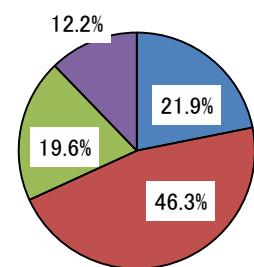
わが子に、丁寧な言葉づかいをするよう、家でも言葉づかいに気を付けています。



自分や人、ものを大切にしていますか。



自分の良いところが言えますか。

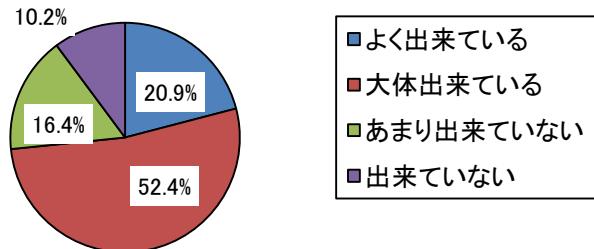


だれとでもつながる子

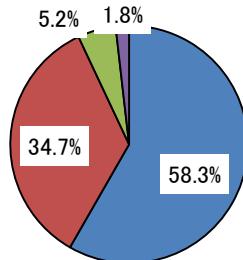
誰しも楽しかったこと、面白かったことを「誰かに話したい」と思うことがあるかと思います。子どもたちが学校生活のことをご家庭で話す際には、お忙しいとは思いますが少しだけでも耳を傾ける時間を大切にしていただければと考えます。そして、今後も「学ぶ楽しさ」「知る楽しさ」「人と関わる楽しさ」を子ども達が味わい、子ども達がさらに「学校でのことを話したい」と思うことができるような教育活動を創造していきたいと考えます。

また、あいさつについて、多くの子どもたちが「している」と答えました。「家でも挨拶をしている」と答えた保護者の方も多く、子どもたちに挨拶の習慣がついてきていることが分かります。挨拶は人間関係の第一歩です。子どもたちがより良い人間関係を培い、様々な人とつながって豊かな人生を歩んでいくことができるよう、引き続き意識していこうと思います。

学校での出来事を家庭で話していますか。



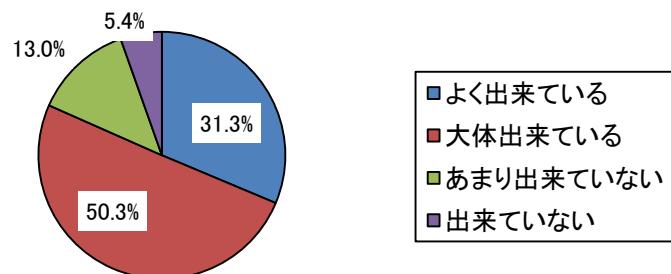
進んで元気よくあいさつしていますか。



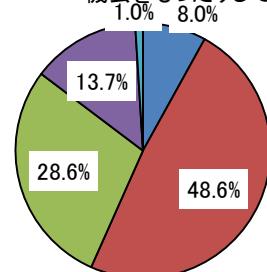
しなやかで元気な子

今年もとても暑い日が多く、外で遊ぶことを危惧するような日が続きました。一方で、休み時間になると元気よく運動場に飛び出していく子ども達の姿も多く見受けられます。これから徐々に過ごしやすく運動に適した季節になっていきます。積極的に体を動かす機会を大切にできるようご家庭でも働きかけていただければと思います。また、体を動かす遊びの中で体力や運動能力を高めるだけでなく、多くの人（友だち）と関わる遊びの経験の中から「自分の思うようにいかないこと」「友だちとの関わり方」などの社会性を学ぶこともできます。「体を動かすこと」は体力向上のためだけではなく、「心の成長」にも繋がるということも踏まえ、積極的に働きかけていただければと考えます。

進んで体を動かしていますか。



わが子が自分から進んで体を動かすような言葉かけをしたり、機会をもったりしている。



2学期以降も、子ども達がより「学校が楽しい」「学ぶことが楽しい」と思うことができる、教育活動を展開してまいりたいと思います。